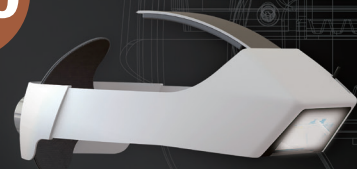


ウェアラブル手術用照明

OPELA III™ の有用性

Vol.10

市中病院編



前村 誠 先生

医療法人社団白翔会 千葉白井病院 院長

千葉県白井市にある千葉白井病院。総病床数100床の救急指定病院で、地域に根差した診療を行っている。消化器外科の手術数は年間150~200例ほどで、今回は消化管から肝胆膵まで消化器全般の手術を行う病院長・前村誠先生に、中小の市中病院の手術室における照明事情やOPELA III導入の背景、使用感をうかがった。



無影灯を増やそうとしていた時に会った、無影灯のような照明

当院は2名の外科医で消化器外科全般の手術を行っていますが、無影灯が1灯の環境下で手術を行うこともあり、細かい操作にあたり、十分な照明が確保できなかった。明るさの問題に加え、一方向からの光では外回りの看護師さんに無影灯を動かしてもらった頻度も高く、それも課題に感じていました。もちろん無影灯を追加することも検討していたのですが、無影灯を設置するためには天井の工事が必要、これには費用も日数もかかりますし、期間中は手術室を使えません。そんな背景もあり、どうしようかと悩んでいた時に学会の展示ブースでOPELA IIIと出会いました。OPELA IIIは、光の明るさや質感が無影灯のようで、それでいてヘッドライトの形状をしている、それまで見たことのない照明でしたが、もしかしたら良い解決策になるかも、と思い購入を決めました。実際

に使用すると十分に明るく、無影灯を動かしたりするという手間も軽減されました。通常、3~4時間ほどの手術で使用することが多いのですが、装着感も全く違和感なく、特に重量を感じることもありません。無影灯の代わりになるだけでなく、助手側から見ても術野が明るく良く見えることから、術者・助手のストレスを軽減し、外回りの看護師の手も煩わせない非常に効果的なアイテムです(図1)。

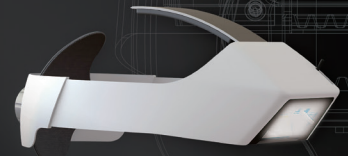


図1 | 「無影灯+OPELA III」で手術に臨む前村医師

消化器外科手術において出番が多い、その守備範囲の広さも魅力

当院の消化器外科手術の多くは消化管手術です。開腹手術の時はもちろん有効で、胃の手術では、特に脾周囲の操作をする際にOPELA IIIがあると非常に見やすい。脾臓脱転の操作では術野が深く、無影灯では照射が難しいため、どうしても術野が暗くなりがちです。OPELA IIIがあると深くまで術野が明るく見えるため、不要な損傷を避けることができますし、もし出血したとしても、止血操作や止血

確認が容易なので安心して手術をすることができます(図2)。大腸の手術の場合は、会陰操作で直腸の前/後壁を剥離する際に使い勝手の良さを実感しています。症例はそう多くはありませんが、回腸肛門吻合、結腸肛門吻合の肛門操作の時にも役に立っています。また、開腹手術の時だけではなく、腹腔鏡手術の時にもOPELA IIIを使用しています。当院では外科医2名体制ということもあり、完全鏡



市中病院編

視下ではなく腹腔鏡補助下で行うことが多いのですが、吻合や吻合部の補強の際に重宝しています。最初から装着しておいて、小開腹からの再建の際に点灯する、という使い方をしています。

肝胆膵領域では、膵頭十二指腸切除術で使用していて、再建時の胆管空腸吻合の時に特に有用です。先日、出先の病院で同手術をした際には、「OPELA IIIがあれば暗い術野で手術しないで良いのに」と思いました。その手術室は無影灯が主灯と副灯の2灯でしたが、それでも

OPELA IIIの光が欲しかったですね。OPELA IIIの有無で手術のやりやすさがかなり違うと思います。

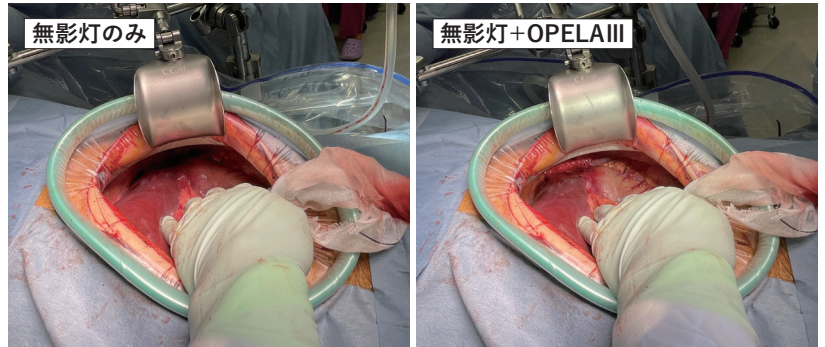


図2 | 胃全摘術での1シーン。OPELA IIIによる照射で奥まで明るく見えている。

「無影灯+」のオプションとして持つ価値のあるアイテム

これをご覧になった方は、「1灯だから必要なのでは」と思われるかも知れませんが、无影灯がいくつあったとしても、術者目線で術野を照らすことができるOPELA IIIは有用なアイテムだと思います。私は船の中での手術から市中病院、大学病院と様々な環境で手術を行ってきましたが、手術に際して照明は最も重要な機器と断言できます。エネルギーデバイスも重要ですが、何より見えていないと安心して手術をすることはできません。无影灯が2灯、3灯あったとしても、術野全体を均等に明るく照射することは困難で、どうしても術野の奥の方では、暗く見えづらい場所がでてきます。そういった際にOPELA IIIはやはり有用ですね。手間のかかる工事等は不要ですぐに使えるのももちろん、簡単に持ち運ぶことができ、外来手術や処置室での処置にも使用できます。決して安くはない商品ですが、結果的にその価格以上に役に立っています。当院では无影灯が必要なタイミングで遭遇したのですぐに購入しましたが、現在はレンタルサービスもあるので*、1度試して購入を検討されてみて良いと思います。OPELA III

は決して大規模病院向けの特別な照明ではなく、当院のような中小の市中病院でも十分にメリットが多いように思います。



中小の市中病院にもメリットが多いと語る前村医師

* お得な月額定額料金にて最長3年間使用できるサブスク型長期レンタルサービス「OPELA IIIスマートプラン」詳細は、以下お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。(半年経過後は、解約/買取も自由にお選びいただけます。)

OPELA III®は太陽商事株式会社の登録商標です。
OPELA III™は太陽商事の商標です。

[製造販売元]

太陽商事株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目30番9号藤ビル
TEL 03(5440)6273(平日10時~17時)
FAX 03(5440)2080 e-mail: info@opela3.com

ウェアラブル手術用照明

OPELA III™

見えやすい光+動きやすさ・かけ心地

[OPELA III ウェブサイト]

<https://www.opela3.com>



日本製
特許・意匠登録済

インタビュー動画を公開中!